



## 13年ぶり 沖縄上陸

### サンドイッチのサブウェイ

飲食店チェーンとして世界100カ国に最多の3万店以上を展開する「SUBWAY（サブウェイ）」が10月、13年ぶりに沖縄に再上陸する。現在も県内米軍基地内に9店あるサンドイッチチェーンだが、基地外は1999年の撤退以降初めて。さらに年内に

計5店を予定し、5年後までに20店の展開を目指す。

8日現在、同社は米軍基地内を除き全国に360店を展開。自分でパンや野菜の種類を選べるヘルシー志向のオーダーメイドスタイルが人気を集めている。サンドイッチは単品で税込み290円から。総合卸売業のタカダ（浦添

## 10月那覇皮切り、年内5店

市、高田聡社長）が年内に3店舗のフランチャイズ店を出店する。10月1日にTSUTAYA（ツタヤ）那覇新都心店内、11月5日に同小緑店内、12月3日に首里りゅうぼつ内に開店予定。

飲食店経営のジエイシーシ  
福岡県福岡市にあるSUBWAY（サブウェイ）ショッピングモールマリナタウン店SUBWAYのメニューの一部

（糸満市、洲辺俊一社長）も年内に出店を予定しており、今後5〜10店の出店を目指している。

92年に日本に上陸したサブウェイは、94年に沖縄に初進出し4店を展開。だが米国向けの硬いパンや高単価が全国的に受け入れられず、店数は年々減少、沖縄は99年に撤退

した。その後、国内向けのヘルシーメニューを開発。低価格も実現した結果、店数は上昇に転じ、10年間で4倍近くにまで増えた。

日本を管轄する日本サブウェイの担当者は「沖縄はファーストフードが根付いていて健康志向も高まっている。ヘルシー志向のファーストフードという立場から差別化を図る」と語った。

（2012年8月9日 5面）

☆サブウェイが、1999年に沖縄から撤退した理由と沖縄で13年ぶりに出店する理由を挙げてみよう。